



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月2日

上場取引所 東・名

上場会社名 愛知製鋼株式会社

コード番号 5482 URL <https://www.aichi-steel.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤岡 高広

問合せ先責任者 (役職名) 企画創生本部経理部長 (氏名) 小川 正路 (TEL) 052-603-9227

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	173,937	11.0	9,828	118.4	10,287	137.7	7,314	115.0
29年3月期第3四半期	156,737	△6.3	4,500	△53.8	4,327	△56.3	3,402	△46.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 10,903百万円(118.4%) 29年3月期第3四半期 4,993百万円(5.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	371.61	371.60
29年3月期第3四半期	172.88	172.85

※ 平成28年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	272,695	159,964	55.4
29年3月期	273,107	151,273	52.4

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 151,126百万円 29年3月期 143,024百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	5.00	—	50.00	—
30年3月期	—	50.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※ 平成28年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施しております。これに伴い、平成29年3月期の年間配当金合計は、当該株式併合の影響を考慮し、「—」として記載しております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	233,300	9.6	11,000	52.4	11,000	60.3	7,500	47.5	381.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	19,886,675株	29年3月期	19,886,675株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	203,357株	29年3月期	203,666株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	19,683,282株	29年3月期3Q	19,681,753株

※ 平成28年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
経営成績に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7
3. 補足情報 .....	8
(1) 参考資料〔連結〕 .....	8
(2) 参考資料〔単独〕 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## 経営成績に関する説明

当社グループは平成29年4月からカンパニー制を導入し、年輪的成長を目指すための組織体制に変更しました。これに伴い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。

なお、セグメントに関する前年同四半期との比較については、前年同四半期の数値を変更後の区分方法により組み替えを行ったうえで比較しております。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀の各種政策により、緩やかな回復基調で推移しました。しかし、欧州政治の混乱やアジアの地政学的リスクの増大など、わが国経済を取り巻く環境は、依然として先行き不透明な状況が続いています。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期(1,567億3千7百万円)に比べ11.0%増の1,739億3千7百万円となりました。

セグメントごとの売上高は次のようになっております。

鋼(ハガネ)カンパニーについては、鋼材の販売数量の増加と販売価格の値上がりにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は811億2千4百万円(前年同四半期703億4千7百万円)と前年同四半期に比べ15.3%増加しました。

鍛(キタエル)カンパニーについては、鍛造品の販売数量の増加と販売価格の値上がりにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は795億5千9百万円(前年同四半期742億4千9百万円)と前年同四半期に比べ7.2%増加しました。

スマートカンパニーについては、電子部品の販売数量の増加などにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は110億3千3百万円(前年同四半期101億1千5百万円)と前年同四半期に比べ9.1%増加しました。

その他事業については、当第3四半期連結累計期間の売上高は22億1千9百万円(前年同四半期20億2千4百万円)と前年同四半期に比べ9.6%増加しました。

当第3四半期連結累計期間の利益につきましては、原材料・エネルギー価格の上昇や経費の増加があったものの、販売数量の増加や販売価格の値上がり、前年同四半期における、平成28年1月8日の当社知多工場爆発事故に起因する減益要因がなくなったことなどにより、営業利益は前年同四半期(45億円)に比べ53億2千8百万円増の98億2千8百万円、経常利益は前年同四半期(43億2千7百万円)に比べ59億6千万円増の102億8千7百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期(34億2百万円)に比べ39億1千2百万円増の73億1千4百万円となりました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	45,844	29,223
受取手形及び売掛金	47,462	52,484
有価証券	154	154
商品及び製品	6,893	7,936
仕掛品	16,721	18,525
原材料及び貯蔵品	8,255	9,495
その他	5,596	5,510
貸倒引当金	△130	△143
流動資産合計	130,797	123,187
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	45,901	49,071
その他（純額）	50,408	50,616
有形固定資産合計	96,310	99,687
無形固定資産		
	230	540
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	21,907	21,918
その他	23,928	27,428
貸倒引当金	△66	△66
投資その他の資産合計	45,769	49,280
固定資産合計	142,310	149,508
資産合計	273,107	272,695

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,564	26,305
短期借入金	934	279
1年内返済予定の長期借入金	9,644	768
未払法人税等	857	1,541
引当金	195	157
その他	22,740	17,436
流動負債合計	59,937	46,489
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	24,019	27,149
引当金	581	518
退職給付に係る負債	15,202	15,579
資産除去債務	608	609
その他	1,485	2,385
固定負債合計	61,897	66,241
負債合計	121,834	112,731
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	25,016	25,016
資本剰余金	28,016	28,016
利益剰余金	79,427	84,773
自己株式	△1,227	△1,225
株主資本合計	131,232	136,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,635	11,056
為替換算調整勘定	1,430	2,143
退職給付に係る調整累計額	1,726	1,346
その他の包括利益累計額合計	11,792	14,546
新株予約権	7	—
非支配株主持分	8,241	8,837
純資産合計	151,273	159,964
負債純資産合計	273,107	272,695

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	156,737	173,937
売上原価	131,007	146,596
売上総利益	25,729	27,340
販売費及び一般管理費	21,228	17,511
営業利益	4,500	9,828
営業外収益		
受取利息	45	35
受取配当金	449	429
物品売却益	15	32
為替差益	156	76
雑収入	208	481
営業外収益合計	875	1,056
営業外費用		
支払利息	155	112
固定資産処分損	691	395
雑損失	201	89
営業外費用合計	1,048	597
経常利益	4,327	10,287
特別利益		
固定資産売却益	—	596
投資有価証券売却益	804	—
特別利益合計	804	596
税金等調整前四半期純利益	5,131	10,884
法人税、住民税及び事業税	1,549	2,629
法人税等調整額	△346	407
法人税等合計	1,202	3,037
四半期純利益	3,929	7,847
非支配株主に帰属する四半期純利益	526	532
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,402	7,314

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	3,929	7,847
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,148	2,424
為替換算調整勘定	19	1,011
退職給付に係る調整額	△104	△380
その他の包括利益合計	1,064	3,056
四半期包括利益	4,993	10,903
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,563	10,068
非支配株主に係る四半期包括利益	429	834



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鋼(ハガネ) カンパニー	鍛(キタエル) カンパニー	スマート カンパニー	その他	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	70,347	74,249	10,115	2,024	156,737	—	156,737
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	19,762	—	—	7,829	27,592	△27,592	—
計	90,110	74,249	10,115	9,854	184,329	△27,592	156,737
セグメント利益	3,246	920	107	276	4,551	△51	4,500

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鋼(ハガネ) カンパニー	鍛(キタエル) カンパニー	スマート カンパニー	その他	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	81,124	79,559	11,033	2,219	173,937	—	173,937
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	27,355	—	—	8,739	36,095	△36,095	—
計	108,480	79,559	11,033	10,959	210,032	△36,095	173,937
セグメント利益	6,920	1,944	465	494	9,825	3	9,828

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループが平成29年4月からカンパニー制を導入し、組織体制を変更したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、事業セグメントの区分を見直し、報告セグメントを従来の「鋼材事業」「鍛造品事業」「電磁品事業」「その他事業」の4区分から、「鋼(ハガネ)カンパニー」「鍛(キタエル)カンパニー」「スマートカンパニー」「その他事業」の4区分に変更いたしました。

変更後の各報告セグメントに属する製品及びサービスは、次のとおりであります。

区分	主な製品及びサービス
鋼(ハガネ)カンパニー	熱間圧延鋼材、鋼材二次加工品、ステンレス構造部材、製鋼用資材
鍛(キタエル)カンパニー	型打鍛造品(自動車部品粗形材、機械部品粗形材など)、鍛造用金型加工品
スマートカンパニー	電子機能材料・部品、磁石応用製品、植物活性材、金属繊維
その他事業	子会社によるコンピューターソフト開発、物品販売、緑化

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しております。

## 3. 補足情報

## (1) 参考資料〔連結〕

## 1. 業績

(単位:百万円、%)

	当第2四半期 累計期間 29/4～9月	当第3四半期 29/10～12月	当第3四半期 累計期間 29/4～12月	前第3四半期 累計期間 28/4～12月	増減額	増減率	※1 当期予想		前期実績
							(10/31公表)	30年3月期	29年3月期
売上高	113,822	60,114	173,937	156,737	17,200	11.0	(230,600)	233,300	212,837
営業利益	7,045	2,783	9,828	4,500	5,328	118.4	(10,000)	11,000	7,218
経常利益	7,268	3,018	10,287	4,327	5,960	137.7	(9,500)	11,000	6,863
特別損益	596	-	596	804	△ 208	△ 25.8	-	-	1,182
税金等調整前当期純利益	7,865	3,018	10,884	5,131	5,753	112.1	-	-	8,045
親会社株主に帰属する当期純利益	5,172	2,141	7,314	3,402	3,912	115.0	(6,400)	7,500	5,084
1株当たり当期純利益 ※2	262円81銭	108円80銭	371円61銭	172円88銭			(325円15銭)	381円03銭	258円34銭
設備投資額	7,804	5,462	13,267	12,991	276	2.1	(19,500)	21,000	20,831
減価償却費	6,512	3,595	10,107	8,914	1,193	13.4	(14,500)	14,500	12,353

※1 平成29年10月31日に公表した業績予想を修正しております。

※2 平成28年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施しております。これに伴い、前期(29年3月期)の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

## 2. 当第3四半期累計期間 営業利益の増減益要因(対前年同期比)

(単位:億円)

増益要因		減益要因	
1. 販売数量	19	1. 購入品価格	△ 109
2. 販売価格	81	2. 経費の増加他	△ 15
3. 災害(前々期)の影響 ※3	67		
4. 連結子会社の営業利益増	10		
計	177	計	△ 124
差引	53		

※3 平成28年1月8日の当社知多工場爆発事故に起因し、前第3四半期累計期間に残っていた原価悪化要因や取引先で発生した物流費等の当社負担(負担額48億円を前第3四半期に計上)がなくなったことによる影響

## 3. セグメント別売上高

(単位:百万円、%)

	四半期累計期間				前年同期比増減	
	前第3四半期(28/4～12月)		当第3四半期(29/4～12月)		金額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
鋼カンパニー	70,347	44.9	81,124	46.6	10,777	15.3
鍛カンパニー	74,249	47.4	79,559	45.7	5,310	7.2
スマートカンパニー	10,115	6.4	11,033	6.4	918	9.1
その他	2,024	1.3	2,219	1.3	195	9.6
合計	156,737	100.0	173,937	100.0	17,200	11.0

当社グループが平成29年4月からカンパニー制を導入し、組織体制を変更したことにもない、第1四半期連結会計期間より、事業セグメントの区分を見直し、報告セグメントを従来の「鋼材事業」「鍛造品事業」「電磁品事業」「その他事業」の4区分から、「鋼(ハガネ)カンパニー」「鍛(キタエル)カンパニー」「スマートカンパニー」「その他事業」の4区分に変更いたしました。  
各セグメントに属する製品及びサービスは、決算短信の7ページを参照してください。

## 4. 四半期毎の業績推移

(単位:百万円)

	前期(29年3月期)				当期(30年3月期)		
	第1四半期 (4～6月)	第2四半期 (7～9月)	第3四半期 (10～12月)	第4四半期 (1～3月)	第1四半期 (4～6月)	第2四半期 (7～9月)	第3四半期 (10～12月)
売上高	51,962	51,061	53,713	56,100	56,401	57,420	60,114
営業利益	2,945	2,853	△ 1,298	2,718	3,977	3,067	2,783
経常利益	2,625	2,769	△ 1,067	2,535	4,035	3,233	3,018
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,890	1,823	△ 311	1,682	3,119	2,053	2,141

## (2)参考資料[単独]

## 1.業績

(単位:千トン、百万円、%)

	当第2四半期 累計期間 29/4~9月	当第3四半期 29/10~12月	当第3四半期 累計期間 29/4~12月	前第3四半期 累計期間 28/4~12月	増減額	増減率	※1 当期予想		前期実績
							(10/31公表)	30年3月期	29年3月期
売上数量	543	294	838	781	57	7.3	(1,126)	1,133	1,057
売上高	88,945	47,464	136,409	121,261	15,148	12.5	(182,600)	184,300	165,015
営業利益	5,502	1,742	7,244	2,974	4,270	143.6	(7,500)	8,000	5,191
経常利益	6,438	1,951	8,390	3,108	5,282	169.9	(7,500)	9,000	5,122
特別損益	596	-	596	804	△ 208	△ 25.8	-	-	1,215
当期純利益	5,248	1,532	6,781	3,375	3,406	100.9	(5,800)	7,200	4,990
1株当たり当期純利益※2	266円66銭	77円88銭	344円54銭	171円52銭			(294円67銭)	365円79銭	253円58銭
設備投資額	7,050	4,868	11,918	11,991	△ 73	△ 0.6	(17,500)	18,500	19,510
減価償却費	5,220	2,919	8,139	6,930	1,209	17.4	(11,500)	11,500	9,686

※1 平成29年10月31日に公表した業績予想を修正しております。

※2 平成28年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施しております。これに伴い、前期(29年3月期)の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

## 2.セグメント別売上高

(単位:千トン、百万円、%)

		四半期累計期間						前年同期比増減		
		前第3四半期(28/4~12月)			当第3四半期(29/4~12月)			数量	金額	金額 増減率
		数量	金額	金額 構成比	数量	金額	金額 構成比			
セグメント別	鋼カンパニー	567	63,526	52.4	618	74,356	54.5	51	10,830	17.0
	鍛カンパニー	214	48,373	39.9	220	52,141	38.2	6	3,768	7.8
	スマートカンパニー	0	9,362	7.7	0	9,910	7.3	△ 0	548	5.9
	合計	781	121,261	100.0	838	136,409	100.0	57	15,148	12.5
仕向先別	国内	692	109,732	90.5	751	124,132	91.0	59	14,400	13.1
	輸出	88	11,529	9.5	87	12,276	9.0	△ 1	747	6.5

## 3.四半期毎の業績推移

(単位:千トン、百万円)

	前期(29年3月期)				当期(30年3月期)		
	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)
売上数量	262	253	266	275	277	265	294
売上高	40,244	39,654	41,363	43,753	44,313	44,631	47,464
営業利益	2,182	2,368	△ 1,576	2,217	3,301	2,200	1,742
経常利益	2,073	2,300	△ 1,265	2,013	3,858	2,580	1,951
四半期純利益	1,768	1,835	△ 228	1,615	3,359	1,888	1,532